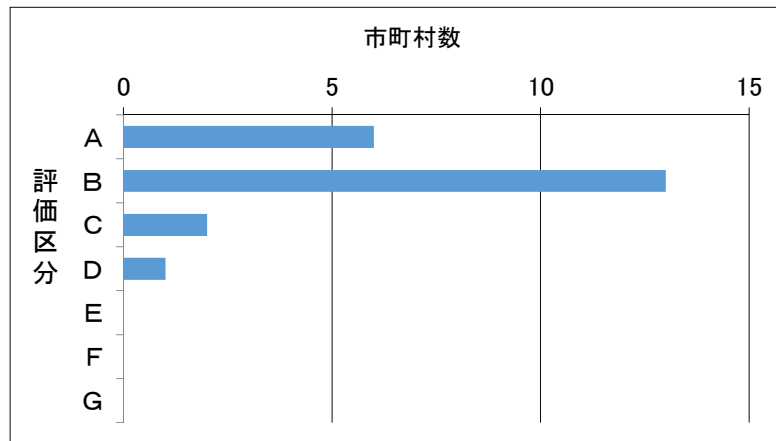


4 本制度の実施効果及び制度の仕組みを踏まえた総合的な評価

《総合評価》

評価区分		市町村数
A	おおいに評価できる	6
B	おおむね評価できる	13
C	やや評価できる	2
D	さほど評価できない	1
E	ほとんど評価できない	0
F	全く評価できない	0
G	その他	0



※ A及びBと評価した市町村が全体の86%（19市町村）となっている。

《A及びBの主な理由》

- ・耕作放棄地の発生を未然に防いでいる。
- ・農業所得の増大や農業用施設の修理・改善に大きく反映されている。
- ・人と人との結びつきが強まり集落の活性化につながっている。

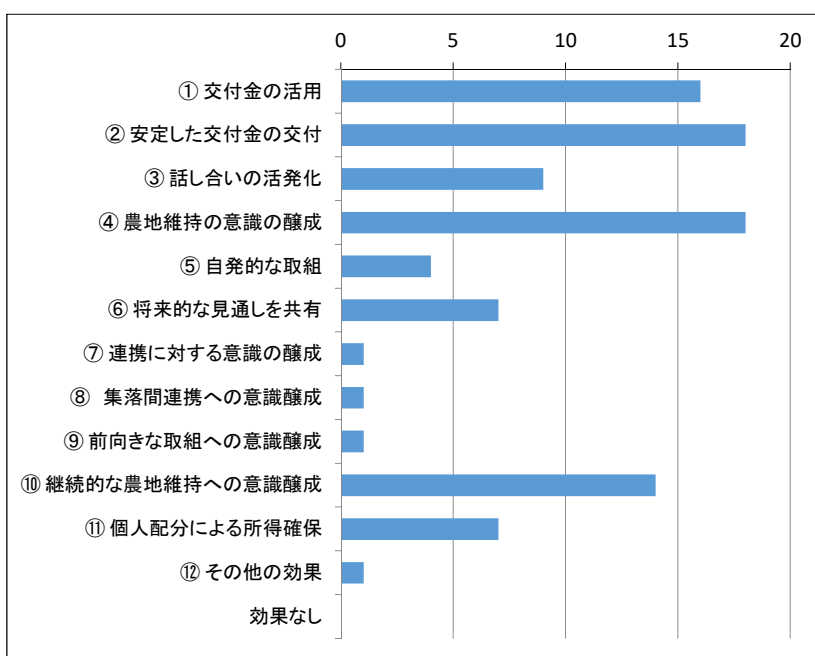
《C及びDの主な理由》

- ・集落ぐるみの共同活動により、条件不利な農地でも生産維持がなされているが、今後、さらに高齢化が進行し、離農者が増加した場合に現行の体制・制度で活動を継続していけるか懸念している。

《実施の効果》

質問項目	回答数
① 地域の実情に応じた交付金の活用	16
② 一定期間安定した交付金の交付	18
③ 集落の活性化に関する話し合いが活発化	9
④ 農地維持の意識の醸成	18
⑤ 自発的な活動計画に基づく取組	4
⑥ 農地維持の将来的な見通しを共有	7
⑦ 新たな人材の受け入れ、多様な組織等との連携に対する意識の醸成	1
⑧ 集落間連携への意識醸成	1
⑨ 農業生産性の向上など前向きな取組への意識醸成	1
⑩ 継続的な農地維持への意識醸成	14
⑪ 個人配分による所得確保	7
⑫ その他の効果	1
効果なし	0

(複数回答あり)

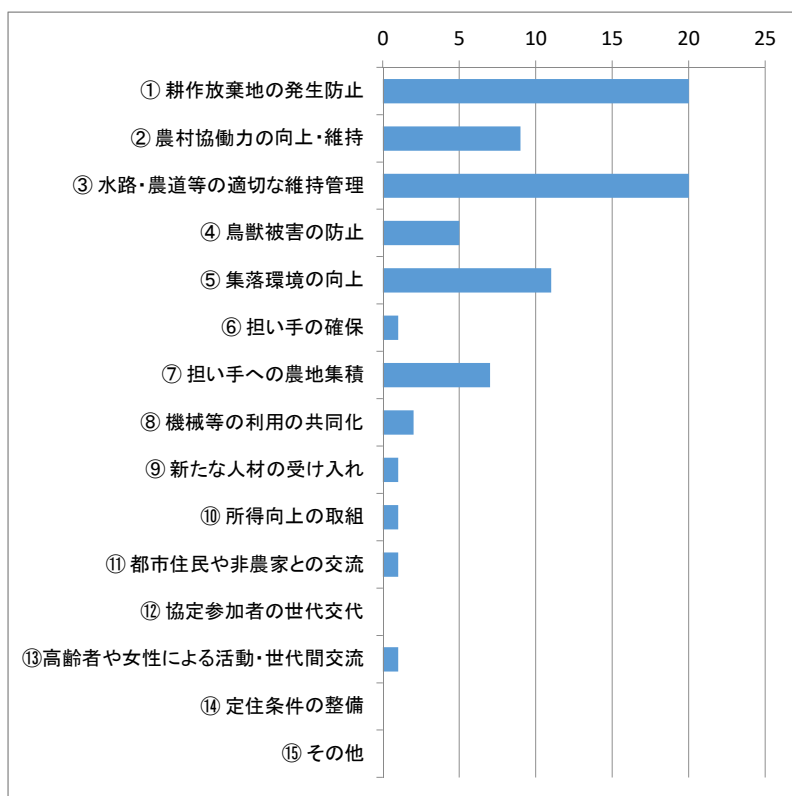


5 第1期対策から第4期対策までの効果

《実施の効果等》

質問項目	回答数
① 耕作放棄地の発生防止	20
② 農村協働力(集落機能)の向上・維持	9
③ 水路・農道等の適切な維持管理	20
④ 鳥獣被害の防止	5
⑤ 多面的機能を増進する活動を通じた集落環境の向上	11
⑥ 担い手の確保	1
⑦ 担い手への農地集積	7
⑧ 農業用機械・施設の利用の共同化	2
⑨ 新規就農者や新たな人材の受け入れ	1
⑩ 高収益作物の導入、直売の開業など所得向上の取組	1
⑪ 都市住民や非農家との交流	1
⑫ 協定参加者の世代交代	0
⑬ 高齢者や女性による活動や世代間交流の活発化	1
⑭ 定住条件の整備	0
⑮ その他	0

(複数回答あり)



《①の主な理由》

・共同活動の継続、参加者の農地保全意識の高まり、交付金の交付 等

《③の主な理由》

・共同活動の継続、交付金の活用、計画的な実施 等

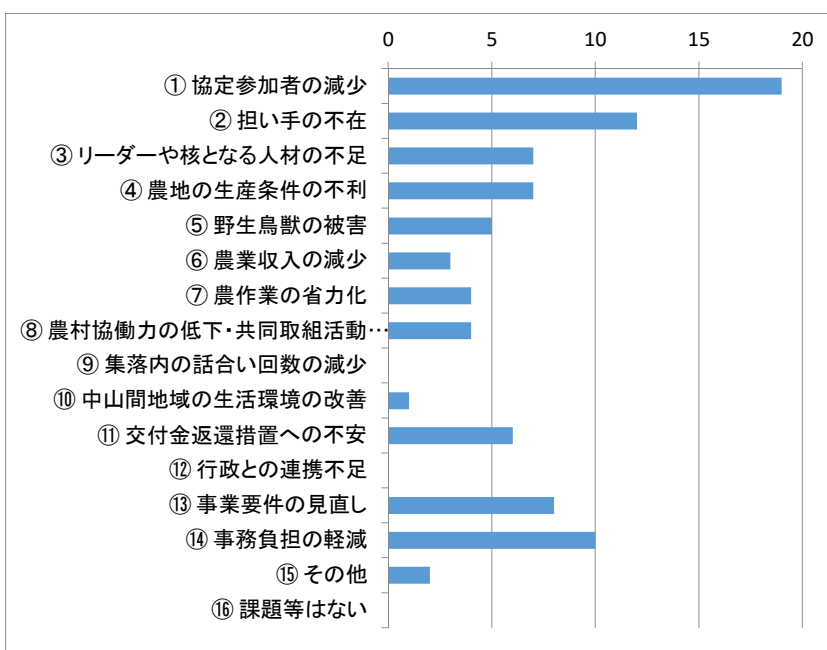
《⑤の主な理由》

・周辺の草刈りで病害虫の発生防止、景観形成等による効果 等

6 今後、適切な農業生産活動が継続的に行われるための課題等

《課題等》

質問項目	回答数
① 協定参加者の減少	19
② 担い手の不在	12
③ リーダーや核となる人材の不足	7
④ 農地の生産条件(圃場条件)の不利	7
⑤ 野生鳥獣の被害	5
⑥ 農業収入の減少	3
⑦ 農作業の省力化	4
⑧ 農村協働力(集落機能)の低下・共同取組活動の衰退	4
⑨ 集落内の話し合い回数の減少	0
⑩ 中山間地域の生活環境の改善	1
⑪ 交付金返還措置への不安	6
⑫ 行政との連携不足	0



⑬ 事業要件の見直し(協定期間の短縮や 交付単価の見直し等)	8
⑭ 事務負担の軽減	10
⑮ その他	2
⑯ 課題等はない	0

(複数回答あり)

《①の主な理由》

・高齢化の進行、協定内の世代交代、農業者人口の減少 等

《②の主な理由》

・農業者の不足、高齢化の進行、限られた担い手への集中 等

《⑭の主な理由》

・パソコン操作不得手な高齢者による事務書類作成 等